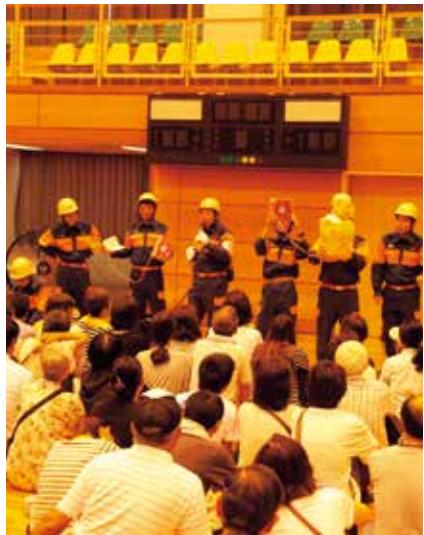


加藤 克之 議員 誠進会



▲AEDの取り扱いを説明する消防団員

問 実情・内容に応じて、市の指導や助言をしているか。

答 「AED、レスキューセットなど」

問 自主防災活動の中での取り組みと購入品は、「津波ハザードマップ」などを「避難行動要支援者名簿」の活用方法などを話し合つたりなど。

問 基本的には自主性を重んじているが、相談がある場合は地域の実情に沿つた助言をしている。

問 地域に対しても取り組んできた内容は。

問 「避難行動要支援者名簿」をテーマに防災ワークショップを開催。

問 これまでの取り組みで特に良かったことは。

問 答 学校や地域と連携が進んできた



▲ソーラー照明灯など防災設備が整備されている「ひので公園」

問 市内の公園の数と点検回数は。

答 「16カ所全てを毎年4回実施。新しく遊具設置と修理をした公園名と実情・内容は。

問 「中六公園のすべり台1基を更新。他8公園のトイレや水飲みなどを修繕。人口密度が高い地域に

問 「近年整備した公園の内容は。

答 「平成26年、かおるヶ丘に「健康ふれあい公園」を整備。市内の公園に防災機能を整備しては。

問 「既設の公園に防災設備の設置は考えていない。県に対し、防災活動拠点の整備を行ってもらえるよう要望していく。

答 「学校や自主防災会など地域住民と連携し、ハザードマップなどを作成できたこと。

答 「防災公園を作ることなどの要件があり難い。

答 「既設の公園に防災設備の設置は考えていない。なお、ひので公園には整備を行ってもらえるよう要望していく。